

第2回都留工業交流展に 地元組合及び企業が参加

ACTIVE KUMIAI

第2回都留工業交流展(同実行委員会・都留市商工会主催)が11月5日、6日、7日(金・土・日)の3日間「フェア富士(都留市中央)」で開催された。「都留ものづくりネットワーク」の構築を提案する都留市商工会の呼びかけにより、昨年より実施されているイベントで市内の精密機器製造加工や織物の製造業者など32の企業、団体が出展した。市内には、多くの中小製造



会場は賑わいを見せていた

業者がいるが高い技術や優れた製品・サービス等を一同に展示・紹介することで企業間のパートナー発掘など交流促進と新規取引先拡大等今後のビジネスチャンスのきっかけとなる場となることを目的としている。また展示会場を広く一般市民に開放することで、市民の理解を深めていただきたい人材確保の期待も大きい。

中央会会員組合では、2組合が出展。都留機械金属工業協(木村理事長・当交流展実行委員長は水を動力として発電する水車の模型と発光ダイオード(LED)を組み込んだ街路灯を、谷村織物工業協(高部理事長)は、傘生地を使ったバック・帽子・ポーチなど開発中の新商品の展示を行い、期間中両理事長ともマスコミ、企業関係者

及び一般来場者への説明をするなど業界のPRに務めた。

なお6日には、共同受注グループ「ラッシュユすみだ」の津幡英夫名誉会長を講師に迎え「ものづくりネットワークで受注拡大」をテーマに記念講演会も開催された。

TOPICS

都留機械金属工業協同組合・谷村織物工業協同組合



都留機械金属工業協の展示品



谷村織物工業協の展示品